

人権さんだ

3 月号

令和6年(2024)

No.540

フレンドシップ デイ イン サンダ
Friendship Day in SANDA を
ご存じですか?

《問い合わせ》
共生社会部福祉共生室人権共生推進課
TEL : 559-5148 FAX : 563-7776
E-mail : jinken_u@city.sanda.lg.jp

Friendship Day in SANDA



多文化体験コーナー・世界の料理

姉妹都市子ども絵画展

やさしい日本語コーナー

平成10(1998)年、今から26年前に外国人と日本人との交流の場であるFriendship Day in SANDAが始まりました。

当時、外国にルーツのある人たちが日頃の^{ひころ}悩みを共有したり、もっと暮らしやすい三田市にするためにどうすればよいかについて市民みんなで話し合える場をつくろうという動きがあり、実行委員会が立ち上げられ、市民や団体^{だんたい}に行政が加わり活動を始めました。

三田市が多様な人にとって暮らしやすいまちになることを願って、多文化の輪がさらに広がるよう取り組みを進めていきたいものです。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

多文化共生の

まちづくりをめざして

第26回 Friendship Day in SANDAからの報告

令和6年1月末現在、三田市には1280人(45か国・地域)の外国人市民が暮らしています。また、日本国籍をもつ人の中に、外国にルーツのある人もいます。

昨年11月に実施した第26回 Friendship Day in SANDAでは、外国にルーツのある若者の発表などを行いましたので、その一部を紹介いたします。

第26回 Friendship Day in SANDA

実施日時：令和5年11月18日(土)

13:00～16:00

場所：まちづくり協働センター
内容：外国にルーツのある若者の発表とおしゃべりタイム、外国にルーツのある子どもの教育についての講演、多文化体験コーナー、やさしい日本語コーナー、世界の料理体験、民族衣装の試着、外国人のための相談、姉妹都市子ども絵画展など



会場では、グエン キエン ジャンさん、李冠辰さん、かつて同じように発表していただいたベトナム籍のレー ニュエン ホン ドウックさんも飛び入りで加わり和やかに発表と意見交流をしました。(ホンドウックさんには、2年前と比べて少し落ち着いてきた日本での生活について話をしていただきました)

グエン キエン ジャンさん

(小学6年生、ベトナム)

(ジャンさんは、スキップ(※1)で日本語を勉強中です。以下の文はジャンさんの作文の表現をできるだけ原文に近い形で掲載しています)

わたしのなまえはジャンです。三小小学校の6年生です。ベトナム・ホーチミン出身です。

ことしの1月に日本に来ました。わたしの好きな食べものは、どらやきです。わたしは、ボールをなげることが好きです。たいいくでフラッグフットボールをしたのしいです。家では、うちゅうせんかんヤマト2205をみるのが好きです。

わたしは、日本にきておどろいたことは、雪を見たことです。ホーチミンでは雪はふりません。雪はつめたくてきれいでした。ともだちと雪がっせんをしました。とてもたのしかったです。

日本の給食はおいしいです。ベトナムの給食もおいしかったです。日本の給食で好きなメニューは、魚、ハンバーグ、カレー、スパゲティです。

わたしはべんきょうが好きです。理科と社会が好きです。とくにれきしが好きです。ベトナムでは、ベトナムのれきしをべんきょうしました。日本のれきしもまなびたいです。

日本語のべんきょうは、ちよつとむずかしいです。ひらがなと

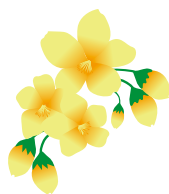
カタカナのべんきょうはおわりました。今は3年生のかん字をべんきょうしています。

日本に来てこまったことは、日本語がわからなかったことです。きいてもわかりません。話すこともできませんでした。ことばがわからなくてふあんでした。でもスキップや学校で日本語のべんきょうをがんばりました。今はふあんがすくなくなっています。ともだちはやさしいです。

わたしは、しょうらい、エンジニアになりたいです。そのため計算するがんだりたいです。わたしは計算するが好きですが、とくいはありません。むずかしいところが多いいです。でも、わかるようにながばりたいです。

わたしはおとなになるまで日本でくらしたいです。おとなになつてからは、エンジニアのほかにかんがえていません。

※1 三田市国際交流協会の事業の一つ「子どもにほんご教室SKIP」ボランティアスタッフと学校や生活に必要な勉強や日本語の学習をしています。



李冠辰さん

(大学4年生、中国)

小さい頃から日本のアニメを見て、村上春樹さんの小説を読んできたので、日本に興味深いです。やはり身をもって日本での生活を体験したいと思って、高校三年生の時、日本に留学することを決めました。

中国(出身地)と日本(三田)の生活で違うことはたくさんあります。まずは値段です。例えば、交通費と通信費が中国より高いです。中国にいる時、ほとんどタクシーで、日本に来たらバスと電車だけを利用しています。それに、果物の値段が高いです。毎回帰国するとき、まず空港のホテルで果物の出前を利用してします。さらに、日本の朝食はほとんど家で済ませますが、中国では外食の人もたくさんいます。店が多いからです。最後はスケジュールです。ほとんどの日本の人がスケジュール管理をちゃんとしていて、なんでも予約する傾向があります。個人的にはそれが素晴らしいと思います。中国では体感的に、スケジュールを管理している人の割合が日本より少ないです。

外国人に不親切と思うことについては、三田で部屋を探すとき、留学生が借りられる部屋がそんなに多くなくて、留学生が部屋を借りたリスクが高いと考える人がいることも理解しているので、仕方がないなーと思います。もしかししたら、三田の空き家を留学生向けの寮やシェアハウスにリフォームしたらどうですかねっていうアイデアもあります。最後は言葉の壁ですね。美容室に行ったら、欲しい髪型が言葉でうまく表現できないとか、スマホで相手の言葉をよく理解できないとかということがあります。もし英語しか喋れないなら多分もっと大変ですね。

嫌な思いをしたり、気になったことは正直あんまりないです。街や学校の人が優しく、嫌だと思ったことがあんまりないです。ただ別の県で自動車免許の合宿でその教習所の教員から差別の言葉で中傷されたことがあります。全体的に見ると、みんなが優しいです。



グループでの おしゃべりタイムから

若者の発表の後、当日参加の皆さんがいくつかのテーブルに分かれて意見交換を行いました。発表に出てきた外国人留学生が部屋を探るのが難しいということは、大家さんにきちんと説明してわかりあえれば解決できることなので話をすることが大切だという意見がありました。

また、「発表者の若者は日本でポジティブな経験をつんでいて、前向きに生きていると思う。外国にルーツのある若者が、前向きに日常生活を送れるように環境を整える必要があるのではないか」という意見が印象的でした。

くらしの人権相談

TEL 559-5062 FAX 559-5063
月曜～金曜 9時～17時(※祝日・年末年始を除く)

専門相談員による性的マイノリティ特設電話相談(予約)

TEL 559-5062 FAX 559-5063
月曜～金曜 9時～17時(※祝日・年末年始を除く)
※専門相談員との相談日は予約後に調整

人権擁護委員会による定例人権相談(予約)

TEL 559-5148 FAX 563-7776
《次回相談日》3月28日(木) 13時～16時

令和5年度 人権ポスター・標語受賞作品



八景中学校2年

川岸心桜さん

● 誰にでも
あるといいな
心の居場所

● 一般
玉田勝世さん

「心の芽の育て方」



ゆりのき台中学校2年
坂田 妃穂さん

編集後記

会場では他にも様々な催しが行われていました。その中で、外国にルーツのある子どもたちの教育の問題について、「子どもにほんご教室SKIP」に関わられている辻本久夫さんの講演がありました。お話の中で、学校教育や社会生活の中で外国にルーツのある子どもたちがつらい思いをしないように、保護者や学校関係者と共になんらかの取り組みをしてきたことが報告されました。

それはFriendship Day in SANDAが歩んできた26年間と重なる部分があると感じました。このイベントは当初、在日韓国・朝鮮人の人たちが受けてきた厳しい差別や偏見をなくすために出来ることを考える機会としても行われていました。その思いは今も引き継がれ、外国にルーツのある若い人たちが多様な文化を誇りとして大きく羽ばたこうとしていることにつながっていると感じます。

使ってみよう
「やさしい日本語」

「やさしい日本語」とは、外国人にもわかりやすいように、言葉や話し方に配慮した、「易しい・優しい」日本語です。阪神淡路大震災をきっかけに、外国人に災害情報を早く確実に伝えるため

私たちは、お互いを知り合い、認め合う出会いの場から始まったFriendship Day in SANDAの目的を再確認し、一人ひとりのルーツや文化を尊重しあい、共に自分らしく生きる社会の実現をめざしたいものです。

使い方のポイント

・文章の中で使う時には、重要な言葉はそのまま使い、言葉の後に<>で説明を加えます。

(例) 余震 <あとからくる地震>

避難所 <みんなが逃げる場所>

消防車 <火を消す車>

暗証番号 <あなただけが知っている番号>

外国人にとって難しいと思われる言葉でも、災害用語や日常生活でよく使う言葉などはそのまま使うとよいでしょう。



123?



に考案され、普段のコミュニケーションにも使われるようになりました。
「やさしい日本語」は、コツを押さえれば簡単に使うことができ、外国人とのコミュニケーションに役立ちます。「やさしい日本語」には正解がなく、相手が理解できるよう工夫して使うことが大切です。

国際交流プラザ

三田駅前 キッピーモール6階 まちづくり協働センター内

国際交流プラザは、外国人の皆さんが多言語で相談できる窓口です。情報提供や交流イベントの案内も行っています。

《時間》10時から17時

(12時30分から13時30分を除く)

《定休日》火曜日、年末年始

外国人よろず相談

日常生活で分からないことや、困っていることなどを気軽に聞きにきてください。専門機関の紹介もできます。

《日時》毎月 第2水曜、第4土曜
10時30分から12時30分

(お問い合わせ)

電話:079-559-5164 FAX:079-559-5173 E-mail:kippy-kokusaip@bz04.plala.or.jp